



# 「正しい商売」に徹するために

なぜリンガーハットは、成長し続けることができるのか。その答えとなる取り組みが2つあります。ひとつは、「入財の成長」。1994年、米濱和英はNPS(ニュー・プロダクション・システム)研究会に入会する英断を下しました。

その理由は、生産性を上げるという企業としての課題を解決するためであると同時に、社員に新しい能力を身につけさせるという目的があったのです。「自分も兄に商業セミナーやペガサスクラブに勉強に行かせてもらった。それと同様に、社員たちにも勉強の機会を与え、様々なことを吸収させたかった」と和英は後に語っています。

この出来事をきっかけに、リンガーハットの生産性が飛躍的に向上したことは言うまでもありません。

また社員においても、各人のもの見方が変わり、企業のブランド力強化に欠かせない存在となりました。そして、もうひとつは「正しい商売」。その真意は、儲けよりも顧客を優先するということです。この考えは企業の持続性にもつながりますが、その土台となるのが社員の仕事における意識です。

働く喜びや社会に貢献できる嬉しさを実感しながら、自身の業務に励む。すべての社員がそうなる企業を、和英は目指していたのです。



Yマーク(社標)

Yはヨネハマの頭文字、そして兄弟の結末のシンボルでもある。またYのロゴマークはお客様、社員、お取引先の共存共栄を表し、それを寿ぐ心を盃の形にした。



リンガーハット オンラインショップ

## 株主さま限定! 特別価格セット販売中

どんと8種類! 人気の定番商品から新しい味まで楽しめる!

2024年  
4月30日(火)  
まで



年内にご注文いただいた方の中から抽選で50名さまに「ジェフグルメカード1,000円分」をプレゼント!



詳細は同封のチラシをチェック または

RingerNet プレミアム株主倶楽部 にアクセス!

<https://premium.ringernet.jp/>



東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル 14F 〒141-0032  
[www.ringerhut.co.jp](http://www.ringerhut.co.jp)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。UD FONT

株式会社リンガーハット

証券コード:8200

株主・投資家の皆さまへ

# リンガーハット 通信

第60期

中間期(第2四半期)  
2023年3月1日~2023年8月31日

TOP INTERVIEW

多様な挑戦を繰り返し、  
利益拡大を加速させます

## 2023年度上半期の 業績振り返り

アフターコロナの生活が当たり前となり、ロードサイド、都心のビルイン、ショッピングセンターのフードコートそれぞれの店舗で客足は順調に増えています。また、テイクアウト需要も継続して安定していたことから、3度目となる価格改定を行った中でも、客足減少といったことは見受けられませんでした。

しかしながら、フードコートでの座席数がまだ戻っていないことや大型台風などの気候変動による影響もあり、全体の売上げについては当初の予想を下回る結果となりました。そこで、以前提供していた500円台メニューの復活やちゃんぽんスープの多様化を図るなど商品の再構成にも取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億31百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は1億25百万円、(前年同期営業損失5億52百万円)、経常利益は1億44百万円、(前年同期比692.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億81百万円)となりました。

## 多様な挑戦を繰り返し、 利益拡大を加速させます

アフターコロナ対応やコーポレートガバナンスの重要性、さらには企業の成長を支える人財の育成など、経営の見直し之急がれる中で現状の利益の確保そして拡大を図ります。その弾みとなる施策を多方面で次々と試み、実現へとつなげていきます。

株式会社リンガーハット  
代表取締役社長兼CEO

佐々野 謙 延

## 2023年度上半期の 主な取り組みについて

販路拡大の一助となっている冷凍商品自動販売機は、多くのお客さまから反響をいただき設置台数もおよそ150台まで伸ばすことができています。但し台数を増やした分、定着化が進み売上げも落ち着きつつあることを懸念し、費用対効果と設置台数のバランスを見極めていくところ。そのうえで、今後はより戦略的に高い集客効果が望める場所の選定をしながら取り組んでいくことを考えており、すでに2カ所の地域でテストを行っているところ。す。

一方、若年層に対する販促にも注力しています。若い世代に人気のあるタレントとともに、新たなメニューの開発やSNS



を活用した商品アピールなどを実施しました。この取り組みにより、Z世代を中心にリンガーハットの認知度が広がっていることを実感しています。もちろん、これまでご愛顧いただいているファミリー層や30代以上のお客さまにもきちんと目を向け、既存のメニューの改良に余念はありません。どの世代につきましても、商品のアプローチ方法は違えども“続ける”ことが大切だと思っています。

## 様々な社会課題への対応

最近、コーポレートガバナンスが社会の注目を集めています。これにつきましては、常日頃からすべての役員が襟を正し、真摯な態度で自社や社会に貢献するべきであることは言うまでもありません。経営陣は毎朝、本社・各工場・グループ会社を交えてテレビ会議を開き、情報共有を常に行っています。そのうえで社員からパート、アルバイトまでリンガーハットの社会的な使命を浸透させる取り組みもしています。全部で40項目ある当社のフィロソフィーを、毎日1項目ずつスタッフ同士で輪読することもそのひとつです。

また社会的な課題を語るうえで、DXも欠かせないでしょう。前々から手がけている食材トレーサビリティについては、佐賀工場での全ライン導入を完了し、富士小山工場、京都工場も追隨しているところ。最終的な目標は、お客さまがスマートフォンなどを通して食材の産地のほか、店舗への搬入や調理の日時といった情報までトレースできること、つまり当社が掲げる食の安全・安心の可視化です。そのほか、物流をめぐる2024年問題については、佐賀工場、京都工場は現状で問題なく、富士小山工場は、首都圏内に3カ所の物流拠点を設置し、配送方法と食材の仕分けを変更します。

## 多様な人財の育成

企業は、人財がすべてと言っても過言ではありません。そのため社員教育にかかるコストは削減しないようにしています。



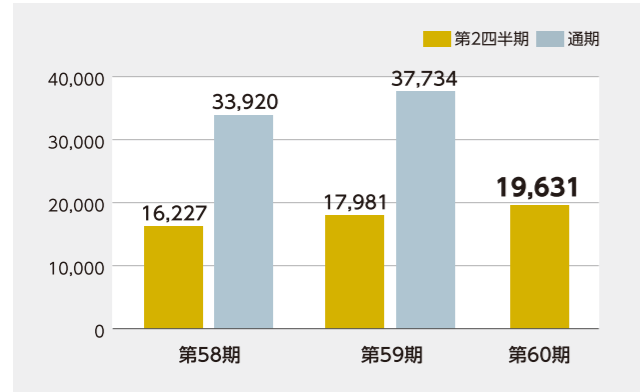
社員一人ひとりのキャリアに沿った多彩な教育カリキュラムを用意しているほか、最近ではコロナ禍で中断していた海外研修を復活させようとする動きも出てきました。この海外研修では、役職や職種の垣根なく、役員や店長、工場のライン長などが参加します。皆で現地の食のトレンドやマーケティングなどを実際に体感し、参加者同士で議論を重ねます。この体験は、各人の知見を深める意味でも、とても有意義なものと考えています。加えて、フィロソフィーセミナー、ダイバーシティ推進みらい座談会やエルダー研修なども継続しており、世代を超えて尊重し合い、活躍できる職場環境の整備に努めています。

## 下半期に向けて

アフターコロナをきっかけに、現場の士気も日を追うごとに高まっています。しかし、今後も売上げを左右する様々な課題を解決しなければなりません。気候変動を例に挙げただけでも、もう想定外の出来事で片付けられるものではありません。リスクを想定し、経費と支出のバランスを緻密に計算しながら利益も社員の向上心も高めていかなければなりません。そのために必要な挑戦は、幾度となくしていきます。株主の皆さまにおかれましては、引き続きリンガーハットグループへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

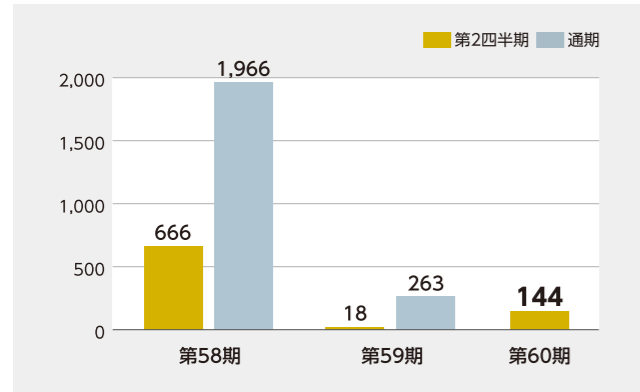
■ 売上高

196億31百万円(前年同期比9.2%増) (単位:百万円)



■ 経常利益

1億44百万円(前年同期比692.6%増) (単位:百万円)

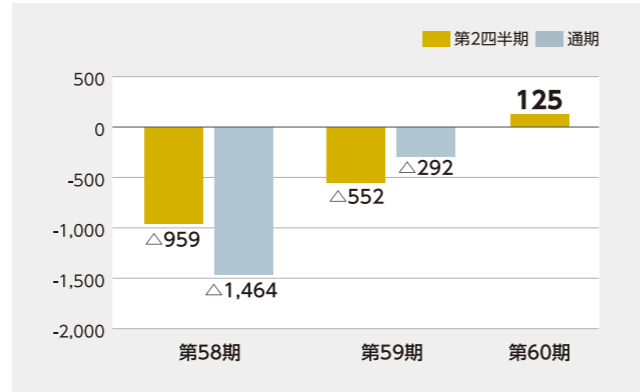


■ 連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 2022年3月1日から2022年8月31日まで	当第2四半期 2023年3月1日から2023年8月31日まで	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	362	954	591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,097	△963	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,782	△240	3,541
現金及び現金同等物の期首残高	7,896	2,373	△5,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,430	2,136	△1,294

■ 営業利益

1億25百万円(前年同期営業損失5億52百万円) (単位:百万円)



■ 連結貸借対照表

資産合計		負債・純資産合計	
流動資産	5,266	流動負債	7,663
固定資産	23,464	固定負債	9,201
純資産	11,866	純資産	11,935
資産合計	28,730	負債・純資産合計	28,730
流動資産	5,260	流動負債	8,521
固定資産	23,200	固定負債	8,002
純資産	11,935	純資産	11,935
資産合計	28,460	負債・純資産合計	28,460
第59期 2023年 2月28日現在	第60期 2023年 8月31日現在	第59期 2023年 2月28日現在	第60期 2023年 8月31日現在

長崎ちゃんぽん事業

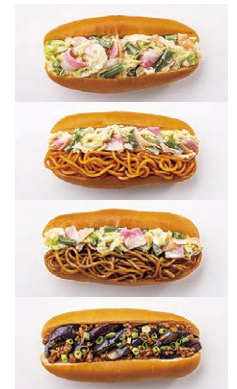


売上高 (2023年 第2四半期) 15,659百万円 (前年同期比9.9%増)

長崎ちゃんぽんリンガーハットでは、さらなる売上げの向上および新規顧客層の裾野を広げるため様々な施策を実施しました。新しいメニューのひとつではZ世代から人気を集め、次世代の若手女優として期待されている女優/モデルの星乃夢奈さんとコラボ。アンバサダーである彼女のアドバイスを受けながら、「あさりとアスパラの鶏白湯ちゃんぽん」を開発し、若い女性客をメインターゲットに期間限定で販売しました。加えて、東京や長崎、千葉などの一部店舗で地域限定メニューを提供するほか、リンガーハットのメニューで使われている国産野菜をコッペパンにはさんだ「モグベジコッペ」を販売。メニュー構成においては、継続的に付加価値を加えています。またJR東日本の駅を中心に展開する「NewDays」などで販売した「リンガーハット ちゃんぽんポテトスティック」や、関東甲信・関西・九州地域のファミリーマート約10,000店舗で販売した「長崎皿うどん」は、どちらも当社が監修し、他社との協業も積極的に行っています。加えて、人気声優や福岡ソフトバンクホークス、すみっこぐらしなどとともジャンルを超えたキャンペーンを大々的に実施。以上の結果、売上高は156億59百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は31百万円(前年同期営業損失5億72百万円)となりました。



あさりとアスパラの鶏白湯ちゃんぽん



モグベジコッペ



リンガーハットの夏得袋2023



リンガーハット ちゃんぽんポテトスティック

とんかつ事業



売上高 (2023年 第2四半期) 3,888百万円 (前年同期比6.1%増)

長崎市鍛冶屋町にある創業1号店の濱かつ本店が、老朽化のため閉店しました。そんな中、とんかつ濱かつは新たな歴史を刻むべく様々な取り組みを行っています。そのひとつが、当社初の冷凍商品となる「冷凍かつサンド」です。ヒレかつとローズかつの2つから選ぶことができ、どちらも発売して以降お客さまからご好評いただいています。現在は濱かつ店頭のほか、リンガーハットの冷凍商品自動販売機でも販売し、さらなる販売促進を図っています。またメニュー開発にも注力しました。期間限定となる「梅しそ巻」シリーズをはじめ、地域・店舗限定商品として、佐賀・福岡で「チキンチーズかつとハンバーグ御膳」、福岡・山口は「長崎産あじふらい御膳」、鹿児島・宮崎で「冷だし茶漬け」、そして熊本・宮崎・鹿児島は「チキン南蛮」と九州地方を中心に新メニューを展開しました。その他、集客率の向上を見据えた「夏得袋」を販売。内容については、前回の品数に対し新たに2品を加えることで購買意欲を高めるようにしました。その他、WANIMA、すみっこぐらしなどとコラボしたキャンペーンも実施し、客層の幅をより広げることに努めました。以上の結果、売上高は38億88百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は1億37百万円(前年同期比3,386.9%増)となりました。



冷凍かつサンド



「梅しそ巻」シリーズ



チキンチーズかつとハンバーグ御膳



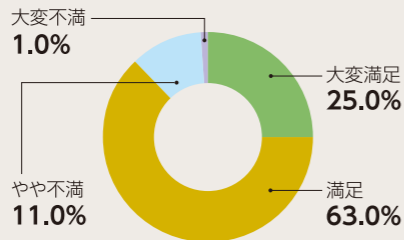
濱かつの夏得袋2023

# 第59期 株主アンケート 集計結果

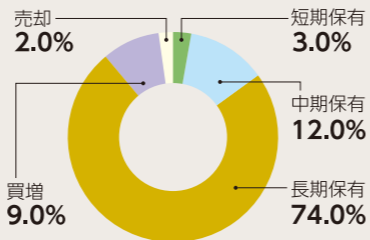
2023年5月23日～6月20日に、当サイト内にて実施いたしました「株主アンケート」の集計結果をご報告申し上げます。

■対象：議決権あり株主さま 42,213名  
■回答数：5,878件 (回答率13.9%)

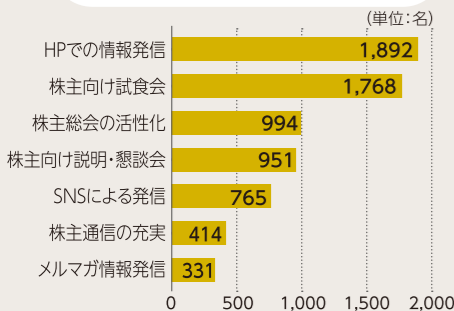
## 株主満足度について お聞かせください



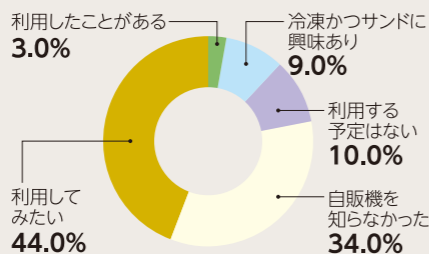
## 保有方針について お選びください



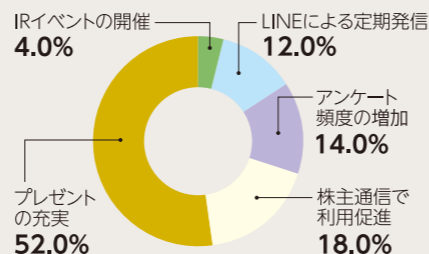
## 充実してほしい SR(株主向けIR)活動について



## 設置拡大中の自動販売機の 認知度について



## 株主倶楽部利用拡大のために 必要なこと



# 株主アンケート(第60期中間)を実施いたします!

当サイト内にて株主アンケート(中間期)を実施いたします。ご回答いただいた株主さまの中から抽選で200名さまにリンガーハットグループ共通商品券1,000円分をプレゼントいたします。

## アンケートの回答はこちらから!

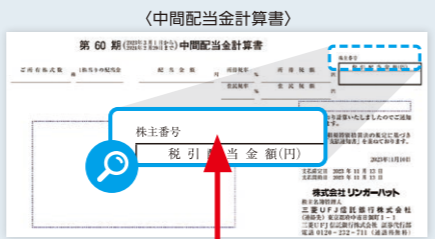
当社の株主名簿\*に記載された株主さまであれば、どなたでもアクセス可能です。  
※当アンケートは単元株(100株以上)をお持ちの株主さまに限定させていただきます。

1 「プレミアム株主倶楽部 Ringer Net」にアクセス  
<https://premium.ringernet.jp/>

2 下記の情報を入力してログイン(会員登録は不要)

- ①ログイン番号:株主番号(中間配当金計算書に記載の8桁の数字:ハイフン不要)
- ②パスワード:株主名簿に登録されたご住所の郵便番号(7桁の数字:ハイフン不要)

実施期間:2023年11月30日(木)まで



株主番号(8桁)はこちらでチェック!

\*毎年2月末時点、又は8月末時点で作成された当社の株主名簿を基準としております。当社の株式ご購入時点で直ちにアクセス権限が生じるものではありませんので、あらかじめご了承ください。

# 友だち獲得キャンペーン

実施期間:2023年11月30日(木)まで

既存のLINE友だち登録済み株主さまも含め、当該期間内にご登録いただいた株主さまの中から抽選で100名さまにリンガーハットグループ共通商品券1,000円分をプレゼントいたします。

## 応募方法

- ①「プレミアム株主倶楽部」LINE公式アカウントを友だちに追加(既に友だちの方は除く)
- ②「プレミアム株主倶楽部」LINE公式アカウントのトーク画面を開く
- ③リッチメニューの「友だち獲得キャンペーンご応募はこちら」をクリック
- ④「プレミアム株主倶楽部」公式サイトにログイン後、「キャンペーンに応募する」をクリックでOK!

## LINE友だち登録方法

### QRコードから友だち登録

LINEアプリの「友だち追加」⇒「QRコード」から右のQRコードを撮影しご登録ください。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



### ID検索から友だち登録

LINEアプリの「友だち追加」⇒「検索ID」から下のIDを入力しご登録ください。

LINE ID @premium\_ringernet

## ■会社概要

会社名	株式会社リンガーハット(RINGER HUT CO., LTD.)		
本店所在地	長崎県長崎市鍛冶屋町6-50		
グループ本社	東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル14F		
創業	1962年7月22日		
設立	1970年6月13日		
資本金	9,002,762,834円		
主な事業内容	長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、とんかつ専門店「濃かつ」を主としたチェーン店及び、長崎郷土料理「長崎卓袱浜勝」の経営、食品・食品原材料の製造・加工並びに外販事業及び設備メンテナンスなどに関する事業		
従業員数(連結ベース)	(2023年8月31日現在) 正社員 / 547名 リンガーメイト・スター(パートタイマー・アルバイト) / 約10,000名		
グループ店舗数	全653店舗(2023年8月31日現在)	北海道・東北地方 14	中国・四国地方 38
	関東地方 255	九州・沖縄地方 215	
	中部地方 61	海外 9	
	近畿地方 61		

## ■株主メモ

事業年度	毎年3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株式名簿管理人・特定口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 【連絡窓口】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場) 福岡証券取引所 ※証券コード8200
単元株式数	100株
公告方法	電子公告によりこれを行います。但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。 ※電子公告掲載アドレス <a href="https://www.ringerhut.co.jp/">https://www.ringerhut.co.jp/</a>

## ■株式に関するお手続きについて

株主さまの各種お手続きの窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

### ●特別口座に記録されている株主さま

当社の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部TEL0120-232-711(通話料無料)にお問い合わせください。

### ●証券会社等の口座に記録されている株主さま

お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。

但し、郵便物などの発送と返戻・支払い期間経過後の配当金に関するご照会、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ等は、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

## ■株式の状況

(2023年8月31日現在)

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	26,067,972株
株主数	47,407名

## ■大株主の状況

(2023年8月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,335,300	8.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,075,900	4.13
株式会社十八親和銀行	655,000	2.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)	600,000	2.30
公益財団法人米濱・リンガーハット財団	600,000	2.30
第一生命保険株式会社	566,700	2.17
株式会社三菱UFJ銀行	535,095	2.05
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	480,900	1.84
アサヒビール株式会社	357,500	1.37
株式会社福岡銀行	348,184	1.34

1. 大株主の持株比率は自己株式(1,503株)を控除して計算して表示しております。なお、当社グループ株式付与型ESOP信託により、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与型ESOP信託口)が保有する当社株式158,880株は、自己株式には含めておりません。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式であります。
4. 公益財団法人米濱・リンガーハット財団は、当社グループ創業家(ヨネハマホールディングス有限会社)と当社それぞれの拠出により、育英事業、文化・芸術・スポーツ等の発展普及推進事業を目的に、2015年9月1日に設立された公益財団法人であります。(詳しくは<https://yonehama-rh-found.or.jp/>をご覧ください。)
5. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(米濱・リンガーハット財団口)は、公益財団法人米濱・リンガーハット財団を受益者として設定した他益信託によるものです。

## ■所有者別の状況

(2023年8月31日現在)

